

山梨政策評議会  
「開の国」づくり部会

# 県政概況報告

山梨県

令和7年12月23日

本県の目指すべき姿

# 『県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし』

取組の2本柱

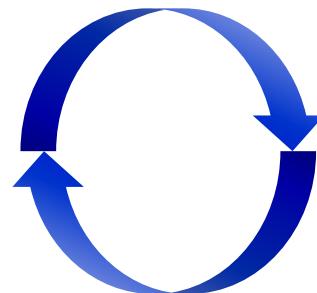
## ① ふるさとの強靭化

(県民の生活をあらゆる外的衝撃から守り抜く)

県民生活の強靭化

経済基盤の強靭化

防災対策



外からの風に強く、かつ外へと開かれた  
**「豊かさの循環拠点」へ**

## ② 『開の国』づくり

(多彩で豊かな選択肢の提供)

共生社会化

挑戦への支援

高付加価値化

# 国際交流によるグローバル人材育成①

## 姉妹都市2.0の取り組み

行政主体の儀礼的交流



実益をもたらす実質的交流



- ・人の交流を基盤とした新しい価値の創造
- ・国内外の自治体を面的に結ぶ国際連携の推進

### <姉妹友好都市>

ブラジル/ミナス  
ジェライス州

韓国/忠清北道

中国/四川省

アメリカ/アイオワ州

フランス/ソーヌ・  
エ・ロアール県

山梨県ベトナム  
親善交流協会

ベトナム/クアンチ省  
(旧クアンビン省)

山梨県

主な覚書  
締結都市

インド/ウッタル・  
プラデーシュ州

山梨県インド友好交流協会

オーストリア/  
ニーダーエスタライヒ州

ネパール

台湾/高雄市

インドネシア  
ジョグジヤカルタ特別州

### <戦略的互恵関係都市>

### 富士五湖自然首都圏フォーラム

世界の知と人が集い新たな価値が創造される舞台

アメリカ / カリフォルニア州

R7.10.7-8

富士・カリフォルニアリーダーズサミット

…アートや音楽など、多様な分野で交流



→ 創造力と実践的な国際感覚を備えた若い世代を育成

# 国際交流によるグローバル人材育成②

人の交流を基盤とした新しい価値の創造

企業間交流

R7.10.7-8

富士・カリフォルニアリーダーズサミット



企業間交流を通じ、創造力と実践的な国際感覚を備えたグローバル人材の育成



カリフォルニア州  
サンタクララ市  
(医療機器関係)

青少年国際交流



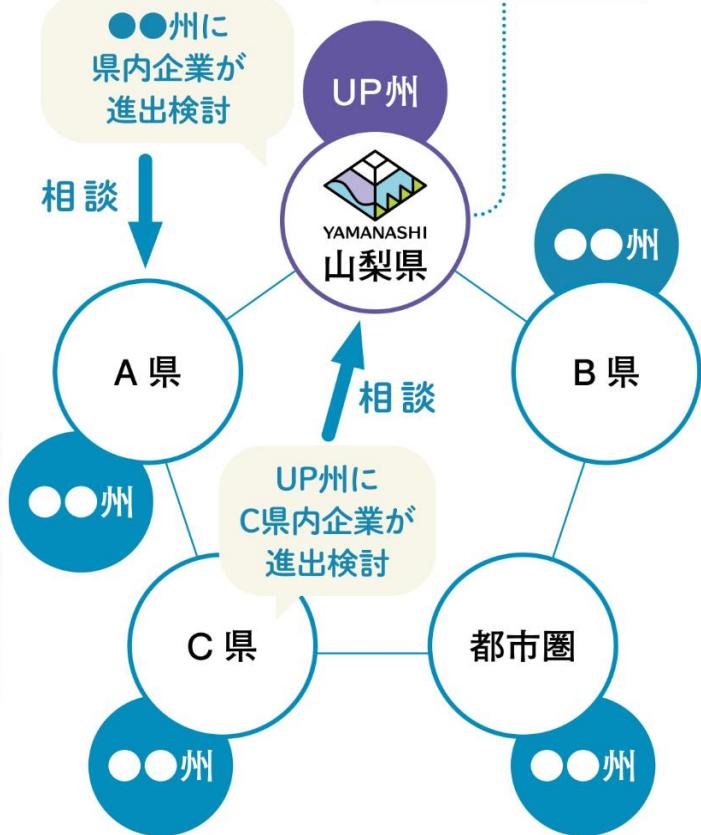
国際交流団体 C I S V の協力を得て、  
中学生が世界十か国から集まった仲間とともに、  
異文化理解や協力を主体的に学ぶ国際教育プログラムに参加

国内外の自治体を面的に結ぶ国際連携の推進



ゲートウェイ構想

自治体連携を本県が  
先導役となり推進  
=面的交流をリード



# 中長期的戦略 産業基盤の強化：

# やまなしモデルP 2 Gシステムを活用したカーボンフリー社会の未来



## 国内最大の大容量モデル



R7年10月11日稼働



## 東京都に設置するコンパクトモデル

R7年10月23日稼働



- ◆ 東京都の地産地消モデルも稼働
- ◆ 狹小地の多い地域特性に適した  
コンパクトモデルで利用の拡大

◆ 我が国最大！

16MW P 2 Gシステムが稼働

◆ サントリー白州工場を中心に大規模利用

グリーン水素利活用拠点が次々完成

水素を製造し近隣で消費する「地域水素の利活用モデル」を全国に展開

# 各国で高まる山梨グリーン水素への関心

世界のグリーン水素の実装現場で蓄積された『運用知』を共有・議論

## 富士ハイドロجين・サミット 2026.4

世界の実装現場の知見を共有し、  
次の行動を描くための国際対話の場

グリーン水素社会実装に関する「知的プラットフォーム」

- 世界各国の「実証」から「実装」に向けた事例共有
- 国内外の「実装を阻む課題」を産官学で持ち寄り顕在化

開催場所

- 山梨県内



主な参加者

- 1300 名規模（オンライン含む）

海外関係者  
国内主要企業

グリーン水素推進に強い意欲のある地方政府・企業・研究者  
脱炭素社会リーディングカンパニー  
エネルギー電力分野・自動車輸送分野・製造業素材分野・不動産建設分野  
金融投資分野・農業食品分野・研究分野 等

行政機関

国会議員・関係省庁・水素分野を牽引する先進的な地方自治体

※サミットの内容は変更となる場合があります。

## センターの特徴

- ・県職員、コミュニティマネージャーの常駐
  - ・24時間利用可能なオフィス
  - ・出入り自由な2階ラウンジ、カフェ
  - ・開放的な屋外ウッドデッキ
- ➡ 支援センターを**最大限活用**



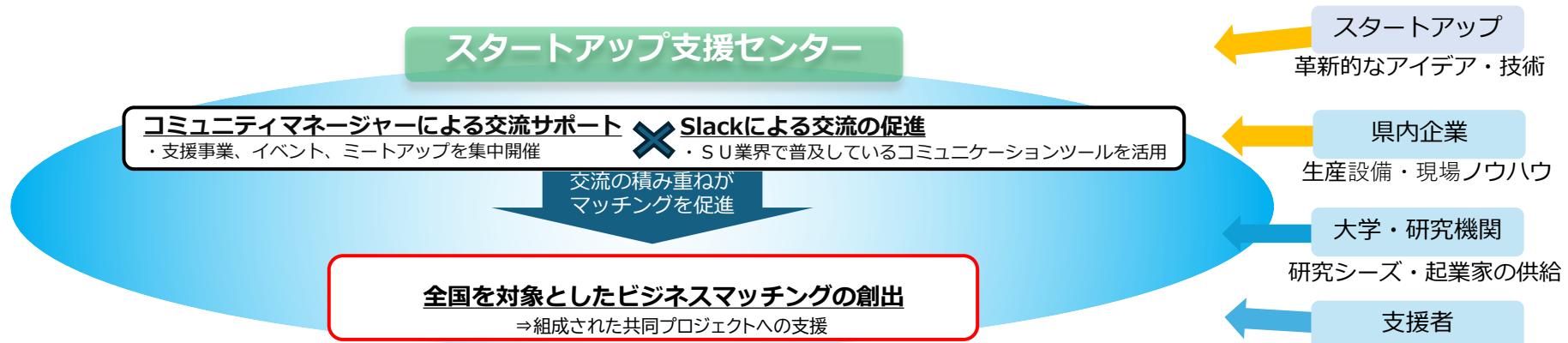
## 新規事業の 方向性

### ① SUと県内企業の事業成長のため、企業連携を重点的に支援

・「SUの革新性」「大学・研究機関が持つ研究シーズ」と「県内企業が持つ高い技術力」が融合したとき、  
高いポテンシャルが引き出される

### ② SUと県内企業などによるビジネスマッチングを強化し、本県の潜在能力を最大化

< SU支援センターエコシステム> 様々な主体が相互に影響を与え合う体制を構築し、事業成長を目指す



# リニア中央新幹線開業効果の最大化



リニア駅と富士山が直結

利用者数の増加



停車本数の増加



利便性の向上

リニアが普段使いできる乗り物へ



道路交通ネットワークの整備で人・モノが行き交うクロスポイントへ

開業効果が全県へ波及

# ※動画（約1分40秒）



四川省宜賓市での  
ART視察



富士トラムが着想を得たARTの試乗・管制室見学を通じ走行性能や管理体制を確認

## 公共交通の中心（LRTからARTへ）

- ・中国では30m超の車両が自動車と併走
- ・ARTが公共交通の中心となりバスが補助的
- ・ART優先車線を設けることで定時性を確保  
※併走区間のため自動運転は補助的
- ・カーブも大きな減速なく、スムーズに通過



## 省人化された管理体制

- ・コントロールセンターではAIを活用し、数人のスタッフでARTの運行を管理
- ・駅設備だけでなく、客席・運転席にも監視カメラを設け、事故の防止・有事の早期対応を実現  
※2019年の開業以来、ART側の有責事故はゼロ
- ・キャッシュレスが前提となっており、利用区間や利用者の特性を把握し、交通施策へ反映